

気汚染が広範に進んでいて、天津、河北、河南から湖北、湖南まで日本の約3・8倍、143万平方\*がPM2・5で汚染されています。また、これによって被害を受けるのは約8億人といわれているのです(一画)

政府の意向で削除

気になるのはPM2・5による被害者の数だが、もちろん、公式発表の統計はある。

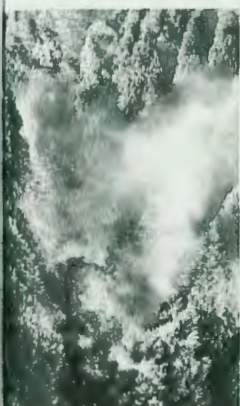
「2012年に北京大学と中国のNPOが合同でおこなった調査結果があります。それによると、北京、上海、広州、西安でPM2・5を原因とする肺がんや気管支炎、心臓病などが発生し、その死者は8000人にもおぼるとされています(前出の駐在員)」

だが、この数字をそのまま鵜呑みにする人は少ない。これより以前に、さらに多数の死者が出ると報じたレポートがあるからだ。北京在住の日本人ジャー

ナリストによると、それは2007年に世界銀行と中国環境保護部が合同で行なった調査だ。「このレポートは大気汚染だけではなく水質汚染も含めて総合的に調査したものです。その結果は「Cost of Pollution in China」という

耳鼻科を2時間待ちにしたPM2.5「結合」の花粉破裂率

今年には花粉の飛散量が例年にも増して多いという。すでに耳鼻科に駆け込む花粉症患者が急増中だが、さらに悪いニュースがある。花粉とPM2・5が結合すると憂鬱な化学反応が起きるのだ。



今年のは花粉は2・6倍

PM2・5の飛来はいつまで続くのか。先の東京農

128ヶ所のレポートにまとめられており、大気汚染についてはPM10の影響を調べてあります。それによると、中国では、毎年35万、40万人が早期死亡と推計されている。PM2・5はさらに細かい粒子なので、この数字はかなり参考になりま

ところが、現在公開されているこのレポートに死者の数は入っていない。政府の意向で後に削除されてしまったからだ。この国で「真実」とは常に隠されるものなのである。

者には嫌な季節だが、「これは深刻ですよ。中国から飛んできたPM2・5や黄砂が大気中で花粉と交じりあうことによってリスクが増大すると見ています」と警告するのは埼玉大学大学院理工学研究科の王青麗准教授だ。

花粉避難警告を

そもそも花粉症のメカニズムとはこうだ。花粉が鼻や目などの粘膜にくっつくとき水分を吸収して破裂する。その結果、中のアレルゲンが飛び出して抗体と反応するという仕組みだが、ここにPM2・5が登場するとどうなるのか。「PM2・5の粒子は硫酸塩や硝酸塩だったりするので水を含みやすい。とくに雨の日など花粉がPM2・5とくっつくとき水分を吸って急速膨張し、早い場合はわずか5分で破裂してアレルゲンを放出するのです。通常、アレルゲンを出す花

粉は全体の3割程度ですが、PM2・5が飛散しているような大気中では8割もの花粉がPM2・5とくっついて破裂する。ただでさえ花粉の飛散量が多い今年の春は、アレルゲンを吸い込むリスクが20倍近く高くなるのです(王氏)

さらに嫌な話もある。空気に放出されたアレルゲン

は1〜2日経つと乾燥し、PM1・0程度の微小な粒子となって大気を漂いはじめ。「花粉だと数時間で地面に落ちるが、このサイズだと1週間は浮遊するため、これまで発症してこなかった人が花粉症になりやすい。また、大気中を漂うアレルゲンは肺などの器官に直接

の使用中大気が汚染され、スモッグに覆われること多い街でしたが、その年の冬は非常に寒く、暖を取るために市民が例年以上に石炭を燃やしたんです」

5頭、殺された牛は少なくとも口頭及び、40頭が呼吸困難の症状を呈した。人間だけでなく動物も、ロンドン・スモッグの被害に遭ったのだとか。

1週間で4000人の命を奪った「ロンドン・スモッグ」の共通点

5騒動で、多くの専門家が引き合いに出す「ロンドン・スモッグ」。濃い霧と煙、すなわちスモッグのせいで、過去、ロンドンでは大量の死者が出たのだ。

「1952年の12月5日から9日にかけて、グレート・スモッグ」とも呼ばれる英国史上最悪のスモッグがロンドンで発生しました。

「地面が冷えたままで空気の上下対流が起こらず、さらに風が弱かったこともあり、人々が生活する低層に汚染物質が溜まってしまっ

こうして、稀に見る大気汚染災害として語り継がれるロンドン・スモッグだが、現在の北京のPM2・5と共通点はあるのか。「非常に似ていて、むしろ北京のほうが深刻な状況にあると思います」

あなたの師と身体を守るための基礎知識



当時の霧んだロンドン

ロンドンの代名詞といえは霧だが、その霧が牙を剥き、大惨事をもたらしたこともある。今回のPM2・

視界は遮られ、屋外に洗濯物は下せず、病院は人で溢れる。PM2・5の発生源である中国・北京の大気汚染は広がりに続けている。最悪の場合、どんな事態が想定されるのか。その参考になると言われているのが、ロンドン・スモ

英国気象庁の記録によると、2ヶ先が見えなかったために自宅を見つけないのが困難な人も出て、ロンドン東部では自分の足元すら見えないほどだったそうです(在英ライター)

前出の東京農工大学教授の畠山史郎氏が後を受ける。「もともとロンドンには石炭

こう分析するのは、大気物理学の権威である名古屋大学名誉教授の岩坂泰信氏だ。

Advertisement for '高品質 飛驒靈芝' (High Quality Hida Reishi) with contact information for Dai-Ikusan Co., Ltd. and a QR code.